

# 校長室からひがしなら通心

(H29年度)

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 17

平成29年7月10日(月)発行

## 夏休みの成功の秘訣は7月にあり

7月に入り、そろそろ梅雨が明ける季節となりました。梅雨が明けるとセミが鳴き始めます。そして一気に夏の暑さになります。まだみなさんの体は夏の暑さに慣れていないので、水分をこまめに取るようにしましょう。また、外で遊ぶときは帽子をかぶるようにしましょう。そして、汗をかいたらタオルで拭きましょう。

さて、あと10日ほどで、みなさんが楽しみにしている夏休みがやってきます。だけど、夏休みの最後にたまった宿題に苦しんだことはありませんか？夏休みの宿題を計画的に進めるためには、実は夏休みまでの過ごし方がとても大切になってきます。ポイントは3つあります。

まず一つ目は、「自分から進んで勉強に取りかかること」です。

おうちの人に言われなくても宿題に取りかかれるようにしておきましょう。これが今のうちからできていると、夏休みに入っても大丈夫です。

二つ目は、「毎日読書をする事」です。

短い時間でも今から本を読む習慣を身につけておくと、夏休みにはたくさん本を読むことができるようになります。テレビやゲームの時間を減らして、その分、静かに本を読めるようになるといいですね。

三つ目は、「自由研究で何をしたいかを今のうちから考えること」です。

夏休みになって考えるつもりでいると、いつの間にかそのことを忘れてしまいます。今のうちから考え始めると、いろんなアイデアが浮かんできます。友だちや先生、おうちの人に相談したり、本やインターネットなどで調べたりすることで、自由研究のアイデアが見つかるかもしれません。

以上の三つのことを1学期の残りを取り組んでみましょう。何かうまくいかなかったら、学校で友だちや先生に相談できます。

ひ とつにみんなでまともろう！  
が くりょくと体力をのばそう！  
し っかりせいかつしよう！  
な かよく友だちとすごそう！  
ら んらん夢に向かう東奈良っ子！

あ いさつができる子  
い っしょうけんめい勉強する子  
う んどうが好きな子  
え がおでやさしい子  
お そうじをがんばる子

## 豊かな心を育てる

子どもにとっては楽しい夏休みも、保護者のみなさんの中には、なくてもいいのに…と思っている方もいらっしゃるかもしれません。しかし、家庭で過ごす時間の多いこの夏休みに、親子で感動を体験し、子どもの豊かな心を育てていただければと思っています。

心を見ることはできません。豊かな心もしかりですが、心は振る舞いを通して表れます。その振る舞いの中に心が見えるのです。

- ・重たい荷物を持ったお年寄りがいれば、そっと持ってあげる。
- ・家に咲いた花を、何気なく持ってきて教室に飾る。
- ・毎日、朝少し早く来てトイレを掃除する。
- ・友だちからイヤなことを言われても、気にせず笑って済ませる。

こんな姿が豊かな心で、言葉で教えるには無理があると思います。もともと心は言葉で育つのではなく、体験によって育まれるものだからです。

毎朝、一緒に庭を掃く。こんな小さなことでも一ヶ月続けると、きっと優しさという豊かな心が育つと思います。この夏、親子でいかがですか。

## みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」 ロン・クラーク 草思社

### ルール8 何かをもらったら、3秒以内にお礼を言おう

人に何かをもらったときは、かならず「ありがとう」と言おう。感謝の気持ちを見せないことに、言い訳は許されない。

●毎日の暮らしの中で、何かをしてくれる人すべてに「ありがとう」と言おう。スーパーのレジ係、レストランのウェイトレス、学校の用務員さん、給食の調理員さんなど。君が感謝の気持ちを見せれば、みんな喜んで、君のためにもっとよくしてくれるだろう。